

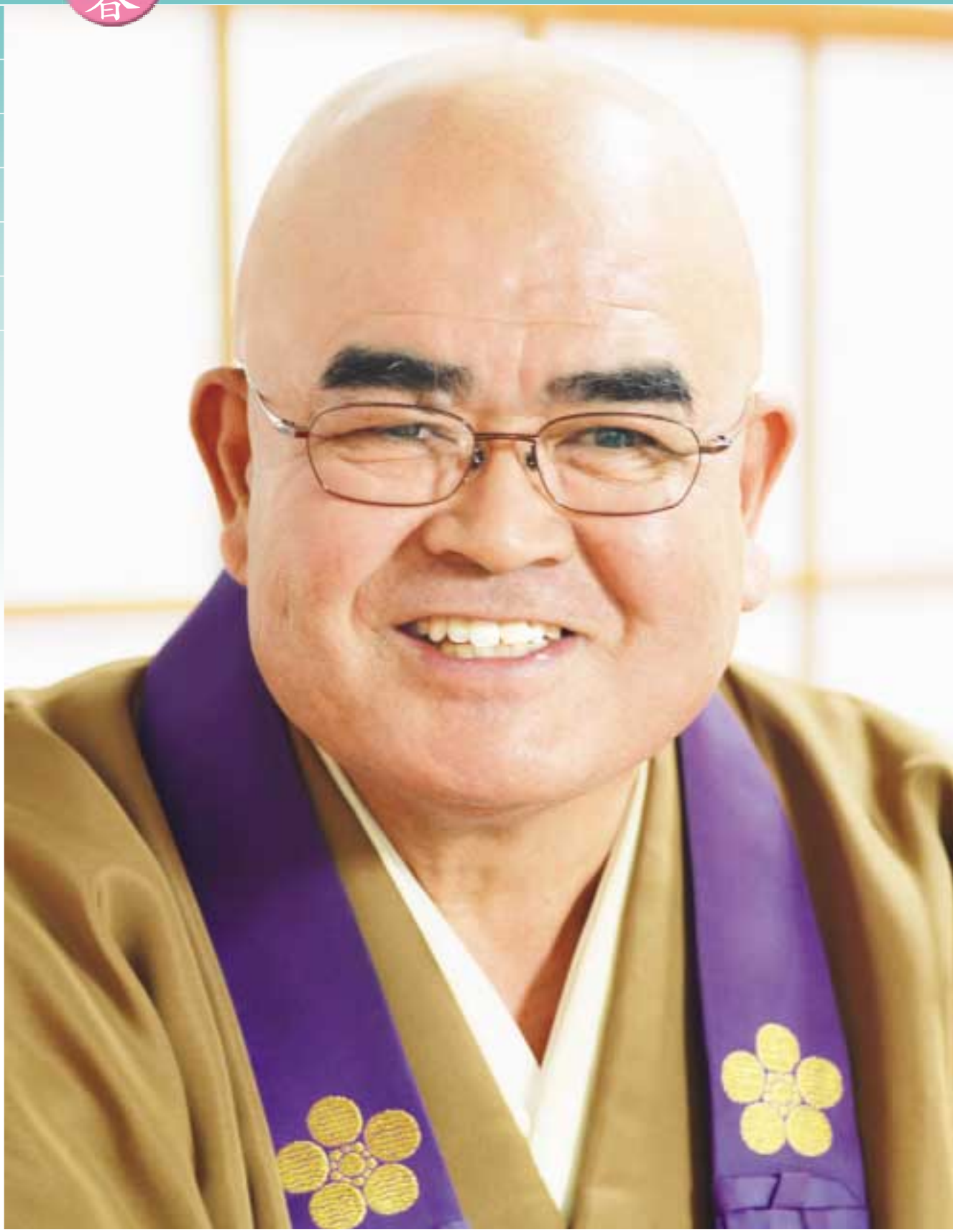
NAKA

公益社団法人 名古屋中法人会・広報誌 [なか]

2013

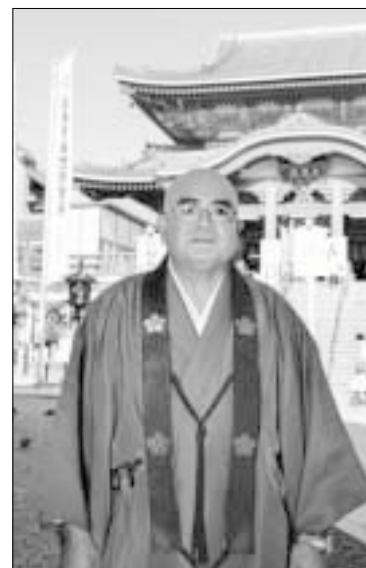
新春

VOL.151



2013年 新春号 目次

DIARY.....	1
年頭あいさつ	2
公益社団法人 名古屋中法人会 会長 岡谷 篤一氏 名古屋国税局 課税第二部長 野々村 元次氏	
局長インタビュー.....	4
名古屋国税局 百嶋 計氏	
税を考える週間	8
暮らしの中の税金展、平成24年度納税表彰式 第15回中法人会TAX杯ミニサッカー大会	
名古屋市内9法人会合同講演会	10
ジャーナリスト 大谷 昭宏氏	
日経経済シンポジウム、県連経済講演会.....	14
クラシック音楽と朗読の平家物語.....	16
徳興山建中寺秋の宝物展レポート.....	17
署長講演会レポート.....	18
第5回文化講演会 平家物語鑑賞会.....	19
《予告》名古屋市内9法人会合同講演会他.....	20
シリーズ・こだわり見学記	21
元気な“大須”の秘密	
第2回福祉施設児童プラネタリウム招待	24
子どもたちからのお礼の絵手紙が寄せられました	
シリーズ・この人.....	26
大須観音 貫主 岡部 快圓氏	
《社長の“やる気”サポート》	
初心者のための源泉所得税研修会.....	30
人事労務管理セミナー	
調査部所管法人部会税務研修会.....	31
みんなに笑顔を、クラウンがやってきた！	32
《ダカラオモシロイ NAKA》	
名古屋ニコニコランド2012	34
オータムジャズセッション2012.....	36
お時間拝借	
アクアス(株)代表取締役社長 大河内 健二氏	38
続・富裕への良薬-(7).....	42
愛知学院大学名誉教授 林 董一氏	
イル・ド・フランス-②.....	44
会友 藤間工業(株) 代表取締役会長 藤間 敏雄氏	
《NEWS》全国青年の集い、全法連全国大会、e-Tax	46
新入会員の紹介	47
行事メモ	48



表紙の人

大須観音真福寺寶生院

貫主 岡部 快圓氏

【プロフィール】

昭和24年(1949)8月24日生まれ

出身/愛知県海部郡菰田町法華院

勤務地/真言宗智山派別格本山(北野山)

大須観音真福寺寶生院

jan. 1

- 7月** 七日正月&七草粥
第2回・総務委員会
芳蘭亭 17:00～
- 8月** 新年税務署長挨拶
名古屋中税務署 13:30～
- 10月** 女性部会・第4回理事会
芳蘭亭 10:30～
- 16月** 《みんなに笑顔がやってくる》
社会福祉法人・むつみ福祉会
14:00～
身体障害者更生援護施設・
むつみグリーンハウス
- 18月** 専務理事会議
大同生命ビル 14:00～
税務連絡協議会「税務なか」区分け作業
名古屋中税務署会議室 14:30～
- 21月** 県連・理事・委員合同賀詞交歓会
名古屋東急ホテル 16:00～
- 22月** 名古屋中税務連絡協議会定例会
名古屋中税務署会議室 14:30～
- 24月** 新春講演会 18:00～
『病まざる 老けざる ホンマの医学』
講師：内科医・作家
おおたわ 史絵 氏
新年賀詞交歓会 19:30～
女性部会・青年部会・経営研究会合同
ローズコートホテル
- 29月** 市内法人会合同講演会実行委員会
事務局会議室 11:00～

feb. 2

- 3日** 節分～恵方は南南東の笠寺観音
- 4月** 立春
- 5月** 南部四支部合同講演会
ローズコートホテル 18:00～
「釜石の奇跡はかくて起こった～
『東海大地震・津波』にいかにか備えるか」
講師：群馬大学大学院教授
広域首都圏防災研究センター長
片田 敏孝 氏
- 6月** 市内法人会合同講演会
日本特殊陶業市民会館 13:30～
『グローバル時代の企業経営』
講師：トヨタ自動車株式会社
代表取締役会長
張 富士夫 氏
- 7月** 青年部会・税務研修委員会
名古屋中税務署長講演会
名古屋観光ホテル 18:00～
「ここが知りたい！
女子アナが聞くマルサの仕事」
講師：名古屋中税務署
署長 稲垣 孝司 氏
コーディネーター：
CBCテレビアナウンサー
青木 まな 氏
- 11月** 建国記念の日

- 12月** 第1回常任理事会
昭和ビル9F会議室 15:00～
県連・事業委員会
大同生命ビル 12:00～
- 13月** 女性部会・初春の健康講座
喜多八 11:00～
講師：名城大学大学院総合学術研究科
教授 加藤 幸久 氏
「脳科学的発想で行う健康づくり」
県連・厚生委員会
大同生命ビル 12:00～
- 15月** 決算期別研修会（1～2月期）
昭和ビル9Fホール 13:30～
- 17月** 《みんなに笑顔がやってくる》
株式会社ラ・プラス 10:00～
介護付有料老人ホーム
「ラ・プラスヒルトップ」
- 19月** 全法連・税制セミナー
ハイアットリージェンシーホテル 11:00～
第3回・広報委員会
事務局会議室 10:30～
県連・組織委員会
大同生命ビル 12:00～
- 20月** 第30回・調査部所管法人会経営者講演会
ウェスティンナゴヤキャッスル 15:30～
- 21月** 青年部会・第6回正副部会長会議
たての町・囲み屋 10:00～
名城支部事業 東大寺ミュージアム・
大仏殿と興福寺の拝観
- 22月** 国府宮はだかまつり
第6回事業委員会
事務局会議室 10:30～
- 26月** 全法連・総務委員会
全法連会館 11:00～
第3回・理事会
昭和ビル9Fホール 14:00～
- 27月** 県連・総務委員会
大同生命ビル 12:00～

mar. 3

- 3日** ひな祭り
- 5月** 啓蟄
青年部会・第6回役員会議
名古屋クレストンホテル 18:30～
- 6月** 第2回・厚生委員会
事務局会議室 10:30～
経営研究会・文化講演会
朝日新聞名古屋本社 朝日ホール
18:00～
世界遺産・平等院の歴史
「日本の原点 ものづくり」
講師：平等院住職 神居 文彰 氏
- 8月** 第67回・東海法人会連合大会三重大会
ホテル花水木 13:30～
- 13月** 第3回・総務委員会
事務局会議室 10:30～
- 14月** 女性部会・第5回理事会
事務局会議室 10:30～
- 15月** 専務理事会議
大同生命ビル 12:00～
- 20月** 春分の日
- 22月** 第1回・税制委員会
事務局会議室 10:30～
女連協・常任理事会
大同生命ビル 12:00～

- 26月** 第2回・常任理事会
昭和ビル9F会議室 14:00～

apr. 4

- 3月～4月** 新入社員研修会
昭和ビル9Fホール 10:00～16:30
講師：森 眞江 氏
社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
- 5月・8月** 新入社員研修会
昭和ビル9Fホール 10:00～16:30
講師：加藤 育美 氏
社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
- 11月** 第8回・法人会全国女性フォーラム
愛知大会
ウェスティンナゴヤキャッスル 14:00～
「信長・秀吉・家康が先輩だ！」
～力をひとつに心をひとつに～
- 17月** 第4回・理事会
昭和ビル9Fホール 14:00～
青年部会・第32年度総会
名古屋クレストンホテル 15:30～
県連・青連協定時総会
ホテルキャッスルプラザ 16:00～
- 18月** 県連・女連協定時総会
ホテルキャッスルプラザ 11:00～
- 22月** 県連・総務委員会
大同生命ビル 12:00～
- 23月** 女性部会・第30回通常総会&創立
30周年記念式典
名古屋東急ホテル 13:30～
「輝いて生きる」
講師：歌手 ジュディ・オング 氏
- 26月** 経営研究会総会
東京第一ホテル錦
県連・理事会
名鉄グランドホテル 12:00～
決算期別研修会（3月）
昭和ビルホール 13:30～
- 29月** みどりの日

may. 5

- 21月** 第2回・通常総会
名古屋東急ホテル 14:30～
- 27月** 決算期別研修会（4～6月）
昭和ビルホール 13:30～



平成25年

新春のごあいさつ



公益社団法人名古屋中法人会 会長

岡谷 篤一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から法人会の活動に対しまして深いご理解と暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

世界の経済情勢は、欧州債務危機が長期化するなか、中国などの新興国経済の減速、一方米国は回復の兆しはみえたものの減税の失効や歳出削減が始まる「財政の崖」が懸念され、成長が期待されるものの厳しい状況にあります。

日本経済も、復興需要の勢いが見られず、エコカー補助金の終了等景気を支えてきた内需の息切れ、円高・海外経済の減速・日中関係悪化等による輸出の減少等により、景気に翳りが見受けられます。

そのような環境の中、当地中部地区におきましては、個人消費や住宅投資は底堅く推移しているものの、輸出は減少しており、全体としては 弱めの動きとなっています。

迎えます本年は大変厳しい環境ではありますが、当地域は自動車産業に加え航空宇宙産業においても世界でも競争力のある「ものづくり」の中核圏域であり、高い技術力が集積しており、景気回復の原動力となることが期待されます。

名古屋中法人会は、昨年4月1日に公益社団法人として新たにスタートしました。記念事業として“中区の歴史と税の知識”を取めた冊子「21世紀に生まれた子どもたちへ 中区この町が大好き」を出版し中区の小学校児童へ贈呈しました。8月には若手音楽家と名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏会、10月はオータムジャズセッションを開催致しました。

本年も、保育園・幼稚園や社会福祉施設へのクラウン派遣、学童ミニサッカー大会、市民参加のフェスティバルなどの開催、学校や職場での「笑顔であいさつ運動」の推進などを行い地域社会貢献に努めていくとともに、よき経営者を目指す団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の高揚と企業経営の健全な発展に努めて参ります。

どうか、皆様には今後とも法人会の活動に倍旧のご理解、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様のご健勝と会員各社のご発展、ご繁栄を心から祈念するとともに、関係ご当局の変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



名古屋国税局 課税第二部長

野々村 元次

平成25年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

名古屋中法人会会員の皆様には、日頃から税務行政につきまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年我が国の経済情勢を振り返りますと、前半には東日本大震災の復興需要の顕在化などを背景とした企業の業況感到改善がみられたものの、後半には中国を中心とした海外経済の減速等の影響により、実質経済成長率が3四半期ぶりに減少に転ずるなど企業マインド悪化の兆しも見受けられました。

今後、海外経済の状況が改善するにつれ、景気回復へ向かうことが期待されますが、対外経済環境を巡る不確実性は高く、先行きは、依然、不透明な状況にあると言われています。

一方、経済以外の面に目を向けますと、三重県出身で国民栄誉賞を受賞されたレスリングの吉田沙保里選手を始めとした日本人選手のロンドンオリンピックにおける活躍や、未来に大きな希望を与えるiPS細胞を研究されている京都大学の山中教授がノーベル医学生理学賞を受賞されるなど、私たちに大きな活力を与えてくれた明るい出来事もありました。

このような中で迎える新しい年が、会員企業の皆様にとって希望の多い充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、貴法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開されますことを御期待申し上げます。

ところで、私どもに課せられた使命は、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことであり、国民の皆様からの理解と信頼を得ることが重要であると考えております。

このため、第一に、納税者の皆様が申告・納税を「簡単・便利・スムーズ」に行っていただけるよう、サービスの充実に努めています。中でも「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」は、納税者の皆様にとって申告・納税の利便性の向上に寄与するものであるとともに、私どもにとって業務コストの効率化に資するものであることから、更なるe-Taxの普及及び定着に積極的に取り組んでいるところです。

貴法人会の会員の皆様におかれましては、御自身の利用はもとより、e-Taxの普及定着に向けた、会を挙げての取組に、積極的に参画いただいております。厚く御礼申し上げます。

第二に、納税者の権利利益の保護を図りつつ、悪質な納税者に厳正な態度で臨むなど、適正な調査・徴収に努めています。

なお、本年1月からは、調査手続の透明性と納税者の予見可能性を高めるなどの観点から、国税通則法に定められた税務調査手続に基づき調査を実施するとともに、全ての不利益処分及び申請に対する拒否処分について理由附記を行うこととなりました。私どもは、この法改正の趣旨・内容をきちんと踏まえ、適正かつ円滑な執行に取り組んでいく所存でございます。

誠実な納税者の団体である法人会の皆様方には、税務行政のよき理解者として引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、名古屋中法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。



至誠通天

名古屋国税局長

ひやくし ま はかる
百嶋 計氏

■プロフィール

昭和33年12月生まれ（奈良県）

- 56年3月 京都大学法学部卒業
- 56年4月 大蔵省入省（主計局総務課）
- 58年9月 OECD（経済協力開発機構・在パリ）
- 62年7月 下館税務署長
- 平成11年7月 東京国税局査察部長
- 13年7月 国税庁調査査察部査察課長
- 14年7月 財務省理財局計画官
- 15年7月 内閣府参事官（財政運営の基本担当）
- 17年7月 国税庁長官官房企画課長
- 19年7月 国税庁長官官房人事課長
- 22年2月 内閣官房行政改革推進室次長
- 23年7月 国税庁長官官房審議官（酒税・企画等担当）
- 24年7月 現職

明るく風通しのよい 職場に

——新春を迎えられ、税務行政の第一線に立たれた現在の抱負をお聞かせください。

昨年の7月に名古屋国税局長を拝命したときに3つ抱負を述べました。1点目は納税者の皆様に的確に申告・納税していただくために親切・丁寧サービスを提供することです。これから確定申告の時期にもなりますので、申告会場をさらに快適・便利にし、ICT（情報通信技術）を活用した申告・納税をより便利にして提供していきます。

2点目は税務行政の適正・公平な執行です。国税通則法等が改正され、今年1月から調査手続が法定化されますので、これを適正に執行し、より一層納税者の皆様の理解と信頼をいただきたいと考えています。3点目は悪質な不正事案には厳正に対処していくことです。

それに加えて、昨年8月に社会保障と税の一体改革で改正消費税法が成立いたしましたので、消費税率の引き上げを円滑に執行していくことが課題となります。その4点を重点に置き、納税者の皆様が不公平感を感じられることのないように任務をしっかりと果たしたいと思っています。——名古屋は初めてですが、印象はいかがですか。

東京の住まいを引き払い妻と名古屋



屋に腰を据え、新しい年を迎えることができ、清々しい気持ちでおります。

東海地方は数多くの戦国武將を輩出した歴史の重みがある地域で、また製造業の伝統が息づいている土地柄でもあり活気があると感じました。

名古屋グルメは大好物ばかりですし、モーニングサービスも引越しの当日から賞味しました。

小学校の修学旅行がこの地で、名古屋城、名古屋港、犬山城、明治村、トヨタの元町工場に行きました。先日、42年振りに犬山城に行ってきましたが、泊まった辺りの佇まいがそのままで懐しかったです。

——名古屋国税局の雰囲気はいかがですか。

調査手続きが法定化され、また消費税の税率引き上げを控えていて、ひとつの大きな転換期だと思います。気を引き締めて職務に精励していきたいと思います。

職員は真面目に仕事をしていると確信していますが、よい仕事をするためには「明るく風通しのよい職場環境」が最重要だと職員に呼びかけています。よく実践していると思います。

名所旧跡に囲まれて育ちました

——珍しいお名前ですが、ご出身の奈良県では多いのですか。

いいえ、奈良県でも縁戚だけです。

祖父の話をもとにルーツを調べましたところ、瀬戸内海の尾道の沖合に百島^{ももしま}という島があるのですが、江戸時代の終わり頃から明治時代にかけて瀬戸内海から舟で大阪に上陸、奈良に住みついて「百嶋」と名乗ったのではないかと思います。

——水軍の末裔ですか。

水軍の関係者だったろうと思います。尾道とか福山に行きますと百島^{ももしま}という姓の人は結構おられます。なお、北海道や豊橋、長野、福岡にも同じ字の姓の方がおられるようです。——奈良のどの辺りでお育ちになったのですか。

生まれたのは大和郡山市です。大和郡山市は豊臣秀吉の弟の秀長がつくった城下町で、江戸時代から明治維新までは柳沢家が山梨から移って統治しました。金魚の町でもあります。

いまの実家は奈良市の西大寺です。西大寺は奈良時代に孝謙（称徳）天皇が建てられた寺で、北には宮家の名称となったことで注目された秋篠寺（秋篠の里）があります。

山中伸弥教授と 同じ高校出身で誇り

——学生時代はいかがでしたか。

西大寺地区は菅原道真公の菅原氏発祥の地で、教育熱心な町でしたが、そこにある奈良市立伏見中学校に通いました。ロンドン五輪ボクシング

で金メダルに輝いた村田諒太選手の出身校です。

寺社、古墳、遺跡など名所旧跡に囲まれたところで育ちましたので、いずれは京都大学の文学部に行って考古、歴史、地理学者になりたいと漠然と思い描いていて、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎を志望しました。

この高校は、先日ノーベル賞を授与されました山中伸弥教授が4年後輩で、報道では山中先生も奈良から通っておられたということで、誇りに思っています。

高校ではこれまで好きだった地理・歴史のクラブに入りました。瀬戸内海の島で合宿したり、フィールドワークのような活動をしていましたが、将来の進路については、法学部に進路を変えました。どんな仕事をするにせよ国の制度や法律をしっかり勉強した上で仕事をしたいほうがいいと、友人と議論するなかで志を変えてしまいました。

私の高校は自由な校風で、高校時代に抱いた夢をそのまま実現する友人が周りに多くいました。例えば演劇部をつくって俳優になった辰巳琢郎君、高校時代から小説を書いていて作家になった芦辺拓君です。山中先生もそうだと思います。その中で途中で志を変えてしまった私は、同窓生の中では非主流派かも知れません。——高校の演劇で主役を務められたそうですね。



辰巳君はすでに本格的に演劇部を立ち上げていましたので、辰巳君にとってはクラス対抗の演劇など片手間みたいなものだったからでしょうか、高校3年生のとき、私が主役を演じ辰巳君は共演に徹してくれました。井上ひさしさんのシリアスな劇でした。「役人」よりも「役者」の方が向いていたかもしれませんね。
——辰巳さんも京大ですね。

彼は文学部ですが、合格発表も一緒に見に行きました。

私は結局法学部に入ったのですが、地理や歴史に有名な先生がたくさんおられましたから、いろいろ未練もあって大学1年生の頃はそういう講義ばかり聴いていました。実社会の経験がないので、民法・商法などの法律を本格的に勉強をしようという気にはならなかったのです。2年生になったときに、法律を身近に感じたいと思い法律相談部というサークルに入りました。土曜日の午後、大学の先生と学生が一緒に無料法律相談をして、ご相談に来られた方の論点を整理して先生にお伺いした上でアドバイスするのです。そこでいろいろな出逢いがあり、法律を学ぶ意義を感じ始めました。

そのサークルに現在の妻がいて、彼女を見て自分も法律を一生懸命に勉強しようという気になりましたので、いまも頭が上がりません(笑)。
——旧大蔵省に入られました動機を

お聞かせください。

友人の影響もあり、パブリックな仕事をしたいと思い、公務員試験を受けました。公務員試験を受けると、東京の霞ヶ関に面接に行くのですが、どの役所も温かく学生を迎えてくれて、霞ヶ関のイメージが変わりました。各省で多くの先輩職員に会いました。そのときのご縁は今も大切にしています。特にその中で、サークルの1年先輩がいた大蔵省に入りました。その先輩とは、今も国税庁で指導を受ける関係です。

よき上司・同僚に 囲まれた幸せな30年

——いろいろなご要職に就かれていますが、印象的だったことをお聞かせください。

どの仕事も重要な仕事でしたが、幅広い仕事ができ、よき上司・同僚と、いいチームワークで仕事できて30年間余りとても幸せだったと思います。

入省したときは主計局にいました。当時は渡辺美智雄大蔵大臣の下で財政再建のキャンペーンを展開しており、パンフレット作り、資料集めなどしましたが、そのときの上司が前名古屋国税局長の氏兼さんでしたので、今回の引き継ぎの時も、入省直後のことを思い出し、より一層身が引き締まる思いでした。

その後、OECDの本部があるパリへ海外勤務になりました。急きょ結婚した妻と一緒にいき、小さなアパートで手探りの新婚生活を始めました。

国税の仕事で印象に残っているのは、ひとつは東京国税局で査察部長、国税庁で査察課長を務め3年間マルサの仕事に携わり、検察官と緊密に連携して、悪質な事案を摘発できたことです。当時、注目を集めた事件もありましたので緊迫した毎日でしたが、貴重な経験ができました。

それから、人事などマネージメントの仕事が多かったのですが、名古屋に来る1年前に官房審議官として酒税・企画等を担当しました。東日本大震災の後でしたので、被災された酒類業の方々の復興支援関係の仕事をさせていただきました。そうした中、「東北のお酒で乾杯して応援しよう」というかけ声をきっかけに、日本酒全体の需要にやや反転の兆しがみられるようになりましたし、外務省と連携して、EUの清酒の輸入規制を解除することもできました。
——e-Tax利用率の拡大について高い数値が示されています。

e-Taxについては2度携わり、とても思い入れがあります。平成17年に企画課長をしていた頃の利用率は0.3%ほどで、各方面からお叱りを受けました。ここは頑張りどころだとみんなで知恵を出し合い、早期還



付や税額控除等の普及策を検討しました。困難もありましたが、法人会の皆様をはじめ、関係者の皆様の多大なご尽力により、今日の利用率までこぎつけることができ感謝申し上げます。

e-Taxの普及・定着は納税者の皆様の利便の向上だけでなく行政の効率化にもつながるものです。引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いします。ダイレクト納付も大変便利なシステムですので、ぜひ源泉所得税などの納付にご利用ください。

私自身もe-Taxのプロモーションに努めています。今日はe-Taxのネクタイをしてきました。

——エッ!! 気づきませんでした。お洒落ですね。

かつての同僚が絹織物の産地の署長をしていたときに発案したもので、これを購入して行事の時などに締めています。

史跡、寺社巡りが好き

——ご趣味についてお聞かせください。

地理や歴史が好きですから、史跡や寺、神社を巡ることや、本格的ではありませんが、山を歩くことが好きです。昔は歩いてしか行けない秘境の温泉を訪れたりしたこともありました。最近はそんなに高い山は登りませんが、花が好きで、この花を

見るために、どこの山に行こうとか、桜の銘木を見に行こうとか、訪ね歩いています。

——お好きな言葉はありますか。

ひとつは「和顔愛語」です。どういう状況下でも和やかな顔で、優しい言葉で接することが大切だと心掛けています。そして「至誠通天」、誠意を尽くせば天に通じるということです。これは30年近い仕事の経験から感じたことです。

例えば小泉内閣のときに内閣府で「骨太の方針」を毎年作っていたのですが、できあがるまでには相当な困難がありました。経済財政諮問会議で示された総理からのトップダウンの方針を、各省庁との間でやりとりをして文章にするには相当困難なプロセスがありました。最近では内閣官房で公務員制度改革、政権交代後は独立行政法人の事業仕分け等にも関わりました。

内閣府や内閣官房の仕事は各省庁から集まってきた人たちと仕事をしますが、そういった方々とは戦友ですし、各省の担当者とは議論したり激しく対立することもあり、調整は難しい仕事でしたが、きちんと議論して誠意を尽くして調整に臨めば、より一層相互の信頼関係が強くなり、必ず成果も得られるのだと体験を通じて感じました。各省の担当者の方々ともその後広く交遊が続いています。どんなに難しい調整を任

せられても誠意をもって対応していると思って、その2つを座右の銘にしています。

——名古屋中法人会は昨年4月に公益社団法人として発足しましたが、公益化が最終目的ではなく、「公益化をどう果たしていくか?」「地域社会にこれまで以上に目を向け、何が求められているかを的確に判断し実行に移す」ことが重要と考えています。名古屋中法人会と会員へご助言をいただきたいと思います。

会員の皆様の多くが賛同される魅力ある事業を提供していかれるのはもちろんですが、すでに取り組んでおられるように、門戸を開いて会員以外の皆様にも多数ご参加いただいた「設立記念コンサート」や親子でスポーツの秋を満喫できた「名古屋ニコニコランド」等、一般の方々にも参加していただける公益事業の姿が望まれます。

ぜひ、そういった事業を通じて、会員の皆様が心をひとつにいただいて、さらに法人会を盛り立てていただければと思います。

監督官庁が愛知県に移りましても、これまでと同様、当局と法人会の信頼・協力関係を保ち、連携・協調を図ることが大切と思っています。

——お忙しいところ、長時間お話しいただきましてありがとうございます。これからも法人会へのご支援・ご協力、よろしくお願いいたします。



ききて／

堀江陽平・森田文二・加藤育美・清水正彌



◆局長講演会

「税務行政の現状と課題」

平成24年11月15日(木) 14:45~16:15

名古屋大学経済学部

暮らしの中の税金展2012

日時／平成24年11月10日(土)・11日(日) 10:00～16:00 会場／NHK名古屋放送センタービル1F プラザウェーブ21



平成24年度納税表彰式

日時／平成24年11月15日(木) 10:30～12:00 会場／KKRホテル名古屋

晴れのご栄誉おめでとうございます。

名古屋中税務署長表彰受賞者の皆様 (敬称略・五十音順)

名古屋中税務推進協議会長受賞者の皆様 (敬称略・五十音順)



加藤 幸一

公益社団法人
名古屋中法人会
常任理事



加納 健史

公益社団法人
名古屋中法人会
理事



高阪 一壽

公益社団法人
名古屋中法人会
経営研究会幹事



佐々辺 明郎

公益社団法人
名古屋中法人会
理事



仁瓶 芳子

公益社団法人
名古屋中法人会
女性部会部会長



高田 信行

公益社団法人
名古屋中法人会
青年部会理事

名古屋国税局長表彰受賞者 (敬称略)



大河内 健二

公益社団法人
名古屋中法人会
副会長



松村 陽明

公益社団法人
名古屋中法人会
青年部会副部会長

第15回中法人会TAX杯ミニサッカー大会

「税を考える週間」特別スポーツ大会2012

日時／平成24年11月25日(日) 8:30~16:45 会場／愛知県体育館メインアリーナ 主催／公益社団法人名古屋中法人会 主管／青年部会
 後援／愛知県法人会連合会、名古屋中税務署、中日新聞社、岡谷鋼機㈱、アサヒビール㈱、名古屋リゾート&スポーツ専門学校、
 丸丹スポーツ用品㈱、スターキャット・ケーブルネットワーク㈱、愛知県サッカー協会

脚光を浴びるミニサッカー



大人も子どもも、いい汗を！

Jリーグの礎、「キングカズ」ことサッカー元日本代表の三浦和良選手が、フットサル（ミニサッカー）の日本代表選手に選ばれてマスコミを賑わせた。

11月にタイで開かれたワールドカップでは、史上初の一次リーグ突破で終わったが、Jリーガー辺りであったフットボールの世界を45歳の三浦和良がフットサルの存在を示した功績は大きかった。

フットサルの公式戦は体育館などで行われ、広さはサッカーの約9分の1でボールも一回り小さく、5人制で交代は自由だ。試合は攻守ともにサインプレーや各選手のポジションが重視される。Fリーグ名古屋のアウジ監督は、「ボールのないところでも絶えず動いて、休む暇はない。高い技術やスピードが必要で、判断力が遅い選手は練習でも邪魔になる」。

第15回を迎えた中法人会TAX杯ミニサッカー大会は、幼稚園部門（年中・年長）4チーム、小学校部門（1・2年生）32チームが参加した。素晴らしいプレーの続出。なでしこジャパンの影響もあって女の子は目を見張るものがある。応援に駆けつけた仲間たちと保護者の歓声が広いアリーナを揺るがしていた。

この日は、元日本代表サッカー選手山下芳輝氏とフリースタイルフットボールのRAPAZ（ラパス）のサイン会とミニサッカー教室、恒例の税金クイズ、キック力のスピードガンテスト、中京大学附属中京高等学校のチアリーディング、さらに大人たちには、名古屋リゾート&スポーツの学生による体力測定・マッサージが行われた。

トロフィーを受け取る子、豪華な景品を手にした税金クイズで優秀な成績を収めた子、さらに参加者全員のプレゼントに、子どもたちの笑顔が弾けていた。

みんなの命輝くために

講師／ジャーナリスト・元読売新聞社記者

大谷 昭宏 氏



雨降って地固まる

毎日のようにテレビでコメントしていますが、名古屋では『ドデスカ!』『スーパーニュース』『トコトン!1スタ』など3つの番組に出演しています。

日本には温泉、四季折々の花、きれいな海や川がある美しい国ですが、自然災害も多く、過去30年間の世界の災害での被害総額の16%は日本です。多くの災害と懸命に闘いながら、みんなで支え合って生きてきた日本ですが、それをきちんと引き継いでいるのかと疑問を持つことがあります。

先日、私は日進市の花火大会を見に行きましたが、「雨降って地固まる」のは、このことだと感じたことからお話しします。

昨年、日進市が毎年開催する花火大会に（被災地の）川俣町で作られた花火もあげようと企画したのですが、「日進市に放射能が撒かれたらどうするのか」と抗議の電話がかかり、川俣町の花火屋は原発から離れ、避難指定地域でもなかったけれど、市は川俣町の花火をあげることを断念しました。愛知県に在住している福島からの被災者2百数十人が招待され、故郷の花火を見るのを楽しみにしていましたので、がっかりされました。その後、日進市の市長は



名古屋市内9法人会合同講演会

日時／平成24年10月4日(木)

13時～14時30分

会場／日本特殊陶業市民会館

川俣町にお詫びに行ったり、職員を派遣したりして川俣町とは絆を深めていきました。そして今年の花火大会では、川俣町の花“山つつじ”の色をした花火と、日進市の花“あじさい”の色の花火、その2つの花火を同時にあげて、花火大会「にっしん夢まつり」が開催されました。

イジメは大人社会の反映

全国的にイジメや児童虐待の問題が起きていますが、日進の花火大会の問題、がれきの問題と根っこで相通じるものがあるように思います。

がれきを引き受けると決まると、市役所や町役場に抗議の電話がかかってくるのですが、調べてみると地元の人は数パーセントで、他市の人からの抗議が多いようです。大阪の知事ががれきを引き受けると表明したとき、私は「よくぞ大阪は決意してくれた」とコメントしたら、奈良県の方から抗議の電話がありました。被災地の人たちは「自分たちは人の住んではいけないところに住んでいるのか」と災害の痛手をさらに深めています。

自分を守るために、気がつかないうちに人を追い詰めているのではないか。そうした大人の行動が、子どもたちの社会に反映され、それが社会を住みづらいものになっていると思うのです。

大津市の中学生がイジメで自殺して1年。周りの子どもたちはイジメがあったことに気がつき先生に申告していたにも関わらず、大人たちはイジメをないものとししました。

一転してイジメがあったと報道されると、ネット上で、自分の名前が明らかにならないことをいいことにして、関係のない人を血祭りにあげて、脅迫状を出した人もいます。

そこで頑張って生きていくしかない被災地の人や、逃げ場のない人を、あたかも自分が正義を振りかざすようにしてイジメで囃し立て、逃げ場のない人の欠点をあげつらって、みんなで徹底的にやっつけ、自分はスツとする。そういうことでストレスを発散するのが大人の社会だと、子どもたちは目の当たりに見ているのです。自分は安全圏にいて、「あの人たちが困っても仕方ない」という考えを社

会から排除していかないと、子どもの社会からイジメはなくならないと思います。

3つも荷物を持っているなら、1つ持ってやるよ

オスプレイ12機の沖縄配備は、尖閣諸島の問題もあり緊迫した状態ですので、輸送機として軍事的には必要かも知れませんが、なぜすべてが沖縄なのでしょう。

私は普天間の基地に何度も行きました。基地の隣にある普天間第二小学校に、小学校としては素晴らしいフェンスがあると思ったら、基地のフェンスでした。そんな小学校の上をオスプレイが飛びます。50分の授業で最低15~20回耳をつんざく音で先生の声が聞こえなくなるそうです。

安全保障上仕方ないと、沖縄から出ていきようもない人たちの上に無理難題を押し付けていいのか。政府は3年前に「沖縄の負担軽減」と宣言したのに、3年経ったら増幅増大しています。

「お前、3つも荷物持っているなら、1つ俺が持ってやるよ」と言うのが人として当たり前の姿勢です。子どもたちに「思いやりを持って」「他人の痛みをわかって」と言っても、「大人たちはやっているの?」と子どもに問われるのではないかと思います。

米軍基地と原発は峻別して考えなければいけません。

原発は地元議会が誘致に賛成、住民の賛同を得ています。しかし沖縄の県議会、市議会、町議会は基地があってもいいと議決したことはありません。世界最大級の嘉手納基地の真ん中にお墓があります。沖縄戦のとき本土に避難して、やっと父祖の地に戻ってお墓参りに行こうとしたら米軍のフェンスに囲まれていたのです。

弱いところにしわ寄せをしているのは、社会的なイジメです。

あちこちで起こっている児童虐待。豊橋では4歳女児の衰弱死。広島の小5の少女の事件は、ゴルフの練習用クラブで30分も殴りつけられています。児童虐待の報道ほど許し難く、やりきれない事件はありません。自分を守ってく

